

中尾 純 スクリャービン ピアノソナタ全曲演奏会 II

モスクワ・スクリャービン国際ピアノコンクール 日本人初の第2位入賞

A. N. スクリャービン:

- 5つの前奏曲 作品 1 6
- ソナタ 第4番 嬰へ長調 作品 3 0
- 4つの前奏曲 作品 3 9
- アルバムのページ 作品 5 8
- ソナタ 第6番 作品 6 2
- ソナタ 第7番 作品 6 4 「白ミサ」
- 3つの小品 作品 4 5
- ソナタ 第5番 作品 5 3



中尾 純 Pianist Jun NAKAO

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。同大学院修士課程修了後、ドイツに渡り2000年ハンブルク音楽演劇大学大学院修了、ドイツ演奏家資格国家試験に全3回とも最優秀の成績で合格。その後もザルツブルク・モーツァルテウムにて研鑽を積む。この間ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生、文化庁芸術家在外研修員などに採用される。大森文子、中野洋子、池田洋子、高良芳枝、安川加壽子、植田克己、クラウス・シルデ、エフゲニー・コロリョフ、カール＝ハインツ・ケマリングの各氏に師事。第62回日本音楽コンクールピアノ部門第3位(1993)、ハンブルク・エリーゼ・マイヤー音楽コンクール優勝(1999)、モスクワ・スクリャービン国際ピアノコンクール(2000)において旧ソ連諸国以外から初の第2位に入賞。ベルリン交響楽団、ハンブルク交響楽団、ロシア国立カペレ交響楽団などと協奏曲共演、V. ポリヤンスキー、F. ボーグナー、松尾葉子、飯森範親ら内外の著名な指揮者と共演している。ドイツはもとより、フランス・スイス・イタリア・ロシアなど欧州各地で多数のコンサート・音楽祭に出演、各紙の絶賛を得る。2001年にはモスクワ・スクリャービン博物館主催のコンサートに招かれ、スクリャービン愛用の楽器で演奏。パリの演奏会ではスクリャービンの孫から祝福を受ける。帰国後はスクリャービン没後90年エチュード全曲演奏会や東京藝術大学創立120周年記念プロジェクトに出演、藝大プロジェクト2010ピアノ・シリーズ(ショパン・シューマン・リスト)最終回では藝大フィルハーモニアと共演するなど、ソロ・室内楽を問わず意欲的な活動を続ける傍ら、東京藝術大学音楽学部にて後進の指導にもあたる。近年はスクリャービン没後100年記念リサイタル、ベートーヴェン後期ピアノソナタ全曲演奏会、バッハ平均律クラヴィア第2巻全曲演奏会などを開催、好評を博す。現在、愛知県立芸術大学音楽学部准教授、金城学院大学文学部音楽芸術学科非常勤講師。

Program

A. N. Scriabin (1872-1915):

- Cinq préludes opus 16 (1894-5)
- Sonate n°4 en fa dièse majeur opus 30 (1903)
- Quatre préludes opus 39 (1903)
- Feuillet d'album opus 58 (1910)
- Sonate n°6 opus 62 (1911)
- Sonate n°7 (Messe blanche) opus 64 (1912)
- Trois morceaux opus 45 (1904-5)
- Sonate n°5 opus 53 (1907)

2022年 19:00開演 1月6日 木 東京文化会館 小ホール



Thursday, 6th January 2022, Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall JR上野駅 公園口

全席自由 5000円(当日券あり) ユース割(30才以下) 3000円(モデラート事前申込のみ、12月30日まで受付)

就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。楽章間を含め、演奏中の入場はできません。マスク着用、検温、手洗いなどにご協力ください。お問合せ: モデラート音楽企画 music.moderato@gmail.com

前売り: 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(休館日除く) お出かけ前に最新情報をご確認ください <https://www.t-bunka.jp/>